

## 病院内物流管理システム (SPD) と カラーラベルプリンターを連携 円滑な物流と確実な保険請求を実現

キヤノン カラーラベルプリンター導入事例  
大阪市立大学医学部附属病院 × 株式会社大黒



病院内の物流管理システム (SPD) で中心的役割を果たすのが個々の医療材料に貼られる管理ラベル。大阪市立大学医学部附属病院では、システムにキヤノンのカラーラベルプリンターを連携させることで、円滑な物流と確実な保険請求を実現している。そこで、同病院で物流管理を担う中央材料部に常駐して、システムの構築・運用を全面委託されている株式会社大黒の二人のご担当者にお話を伺った。

### 病院内物流管理システム (SPD) におけるラベル印刷の効率化を検討

病床数972床、34診療科、1日約2,000名の外来患者が訪れる大阪市立大学医学部附属病院では、2004年に医療材料を一元管理する物流管理システムを導入。株式会社大黒は、院内で使用される物品の入荷・検品からピッキング、出庫、消費、補充・発注に至る流れを全面的にサポートしている。ここで、正確でスピーディーな物流管理の鍵を握っているのが、個々の物品パッケージに貼られる管理ラベル。特に使用後に保険償還できるものとできないものを診療現場で、一目で見分けるにはラベルのカラー化が不可欠となっており、同病院の初期システムでは、保険償還できる材料

には赤、できないものには青の2色のラベルを使用していた。しかし、連携していたラベルプリンターがモノクロ熱転写タイプだったため、色枠だけをあらかじめプレプリントしたラベル用紙を何種類か用意し保管しておく必要があった。そのため、長期間使用されないラベルは劣化が進んでインクがうまくならず、不鮮明な印字やバーコードの認識不良といった問題が発生。また、他の施設では1年ごとにラベルのフォームを変更して医療材料の世代管理を行っているため、使用されず余ってしまったラベルの廃棄も発生していた。「2種類のラベル用紙に印刷するにはプリンターも2台、万に備えるバックアップ機2台の合計4台が必要でしたから、その分コストも多くかかります。それに、プレプリントのラベルでは後から色やフォームを変え

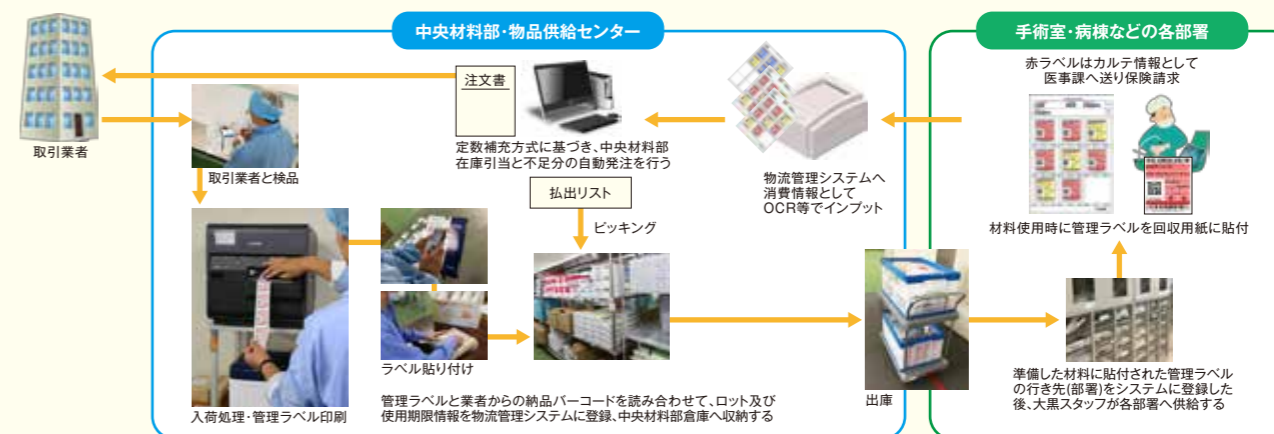
られず、病院側の細かなニーズにタイムリーに応えられません。こうした課題を解決するにはモノクロラベルプリンターでは限界があったのです」と、同病院から院内物流管理業務を委託されている(株)大黒・病院支援営業部・リーダーの瀬戸賢一さんは語る。

### カラーラベルプリンターの導入で、コストや印刷品質の課題を一気に解決

2014年、同病院では電子カルテシステムのリプレースに合わせて物流管理システムの更新も図ることになった。大きな改善点の一つは、保険償還ができる赤ラベルとできない青ラベルの2色に、新しく黄ラベルを加えること。これにより、保険請求できない医療材料を1,000円以上(黄)と1,000円未満(青)の2種類に分け、使用後にラベルを回収処理することで診療原価をいっそう正確に把握できるようになる。

ところが、色ごとに3台のモノクロプリンター(バックアップ機を含めると6台)を設置するのはコスト的にもスペース的にも難しい。そこで行き着いたのがキヤノンのカラーラベルプリンターLX-P5500であった。これなら1台で3色のラベルが印刷できる上に、従来のようなラベル用紙のプレプリントは不要となり、紙の劣化も未使用ロスもない。

### 大阪市立大学医学部附属病院内における医療材料物流管理システムの流れ



さらに、ニーズに合ったフォームのラベルをいつでもタイムリーに作れるようになる。

「LX-P5500はインクジェット方式で解像度も1200dpiと高く、小さなバーコードやQRコードも鮮明に出力できるので誤認識がないし、顔料インクは診療現場で液体がかかっても滲んだりすることがありません。病院職員からも『ラベル全体が鮮明な色分けで、とても見やすくなりました』と評判も上々です」と、同社病院支援営業部・セクションマネージャーの有村忠克さんはLX-P5500を高く評価する。

月間で60,000枚以上のラベルを発行していますが、LX-P5500は流れるようなスピードで出力できます。またインクカートリッジやロール紙の交換も素早くできるので、以前より待ち時間が大幅に短縮され、作業の効率化が図れました」と、瀬戸さんは話す。パッケージに貼られたラベルは、手術室や病棟で使用の際に剥がされ、黄ラベルと青ラベルは部署別回収用紙に貼られて中央材料部へ戻って補充・発注に使われる。赤ラベルは患者別回収用紙に貼られて医事課で保険請求の処理をしてから

中央材料部へ回される仕組みになっている。以前は保険償還の有無は、ラベル上の文字で確認しなくてはならず、請求を見落とす可能性も高かったが、今は色で明確に区別できるようになったという。「これからも当社で提案する院内物流管理システムにはキヤノンのカラーラベルプリンターとの連携が不可欠です。今後は大病院だけでなく中小の病院へも活用を広げていきたいですね」と語る有村さん。カラーラベルプリンターが活躍する医療機関はますます増えていきそうだ。

### 作業時間の効率化と確実な保険請求に貢献

同病院では、同じ種類の医療材料でもパッケージごとにシリアル番号を付けた個体識別コードをラベルに印字することで、1個1個のトレーサビリティ管理を行っており、実際に医療材料が入荷・検品され、システムに登録された時点でラベルを出力することになる。そのため、ラベル印刷に時間がかかると、その後の作業が滞ってしまう。「ここでは1日約3,000枚、

### 大阪市立大学医学部附属病院で使われているラベル



赤: 保険償還できる材料  
黄: 保険償還できない使用単位当り1,000円以上の材料  
青: 保険償還できない使用単位当り1,000円未満の材料

### 病院内物流管理システム (SPD) を強力に支援

キヤノン カラーラベルプリンター

## LX-P5500

- 毎秒150mmのスピーディーなラベル出力
- 4色インクジェットのフルカラー出力
- 解像度1200dpiで鮮明なバーコード出力
- 耐水性に優れた顔料インク
- ロール紙、インクカートリッジも容易に交換

本体標準価格748,000円(税別)

### 業種別プリントサンプル帳プレゼント

業種別プリントサンプル帳を差し上げます。また併せて、製品カタログも同封致します。詳しくはWEBをご覧ください。



※業種別プリントサンプル帳プレゼントは予告なく終了する場合がございます。あらかじめご了承ください。



キヤノンマーケティングジャパン株式会社



Home Page  
©キヤノン カラーラベルプリンター ホームページ  
[canon.jp/labelprinter](http://canon.jp/labelprinter)



©キヤノンお客様相談センター  
カラーラベルプリンター **050-555-90064**

【受付時間】  
平日 9:00~17:00  
(土・日・祝日および年末年始弊社休業日は休ませていただきます)

※海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は03-5428-1344をご利用ください。※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

カタログは、[canon.jp/catalog](http://canon.jp/catalog)からダウンロードしていただくか、ハガキの場合は、住所、氏名、電話番号を明記の上、〒261-8711千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-2キヤノンマーケティングジャパン(株)カタログ請求[カラーラベルプリンター]係までお送りください。※カタログ請求を通じてお客様より任意でご提供いただいた個人情報、はカタログ送付の目的のみに使用いたします。